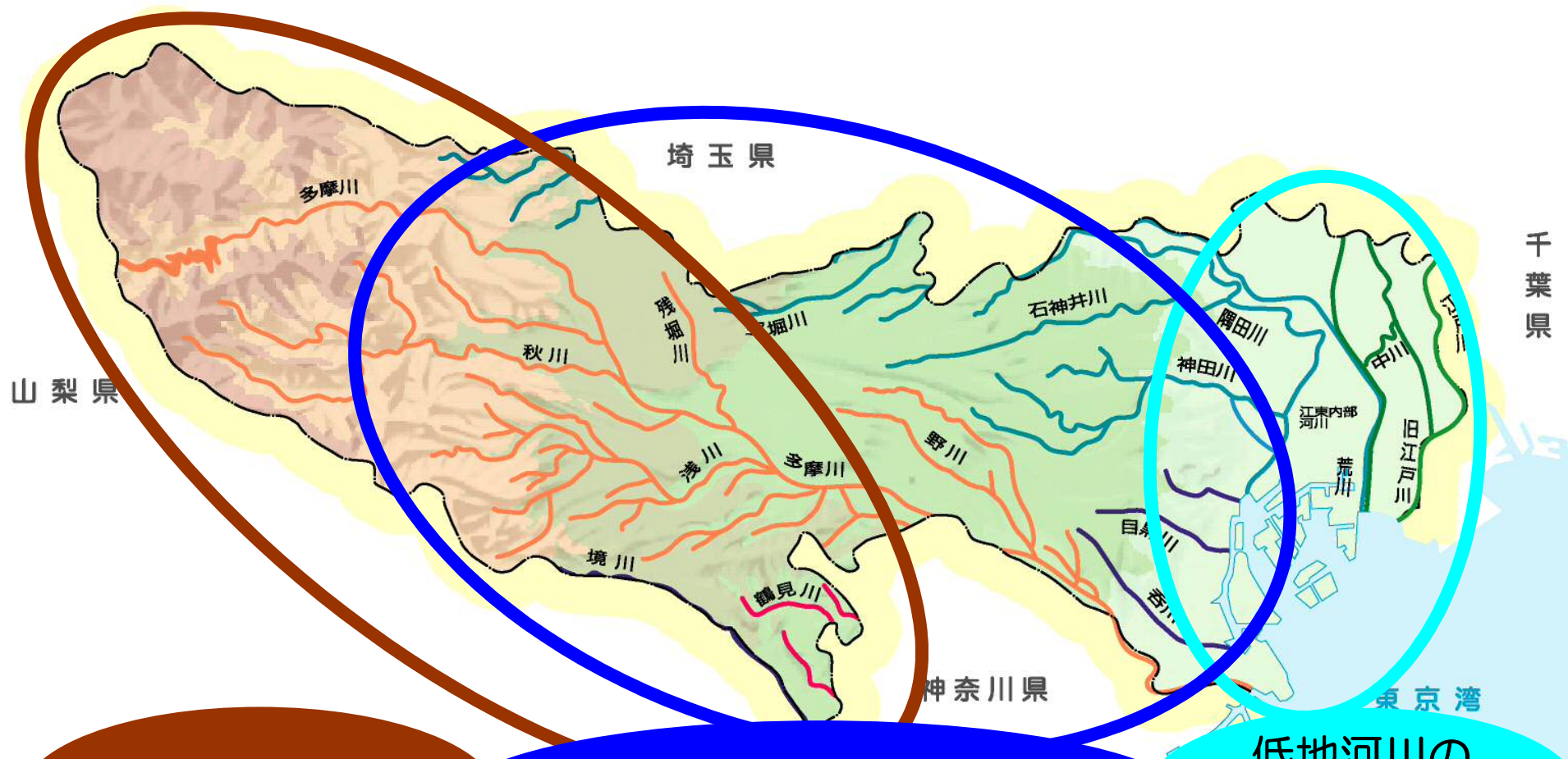


平成31年度 東京都水防協議会

東京都の河川事業について

東京の河川事業【地域特性と対策】



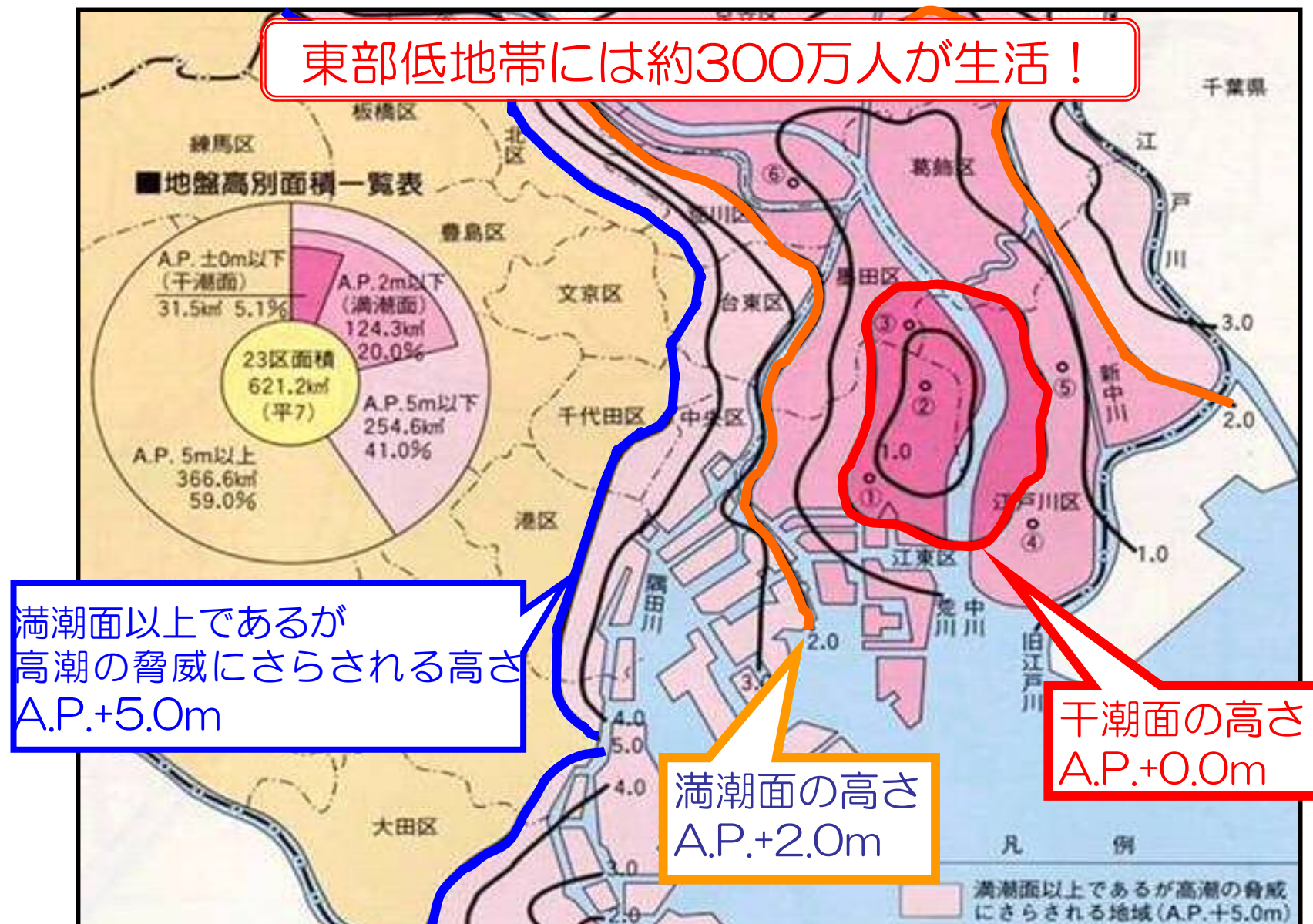
土砂災害対策

中小河川の洪水対策

低地河川の 高潮・地震対策

親水空間整備による都市の魅力向上

低地河川の高潮・地震対策【東部低地帯の地盤高】



堤防が破損すると、甚大な水害が発生する恐れ

低地河川の高潮・地震対策【耐震・耐水対策】

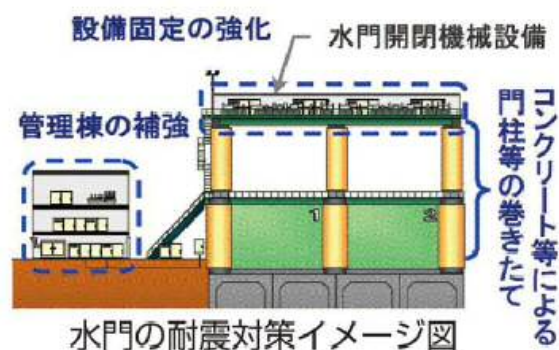
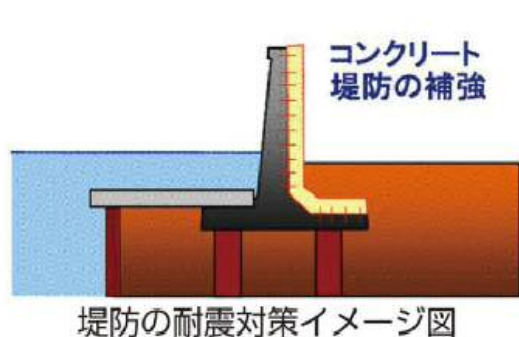
◆平成24年8月

地震・津波対策の「都の基本方針」を策定。

◆平成24年12月

「東部低地帯の河川施設整備計画」を策定。

最大級の地震が発生した場合にも、
各施設が機能を維持し、津波等による浸水を防止することを目的として
施設の耐震・耐水対策を実施する。



低地河川の高潮・地震対策【スーパー堤防の整備など】

スーパー堤防等の整備



旧江戸川

テラスの夜間照明



隅田川「かわてらす」(清州橋下流)

防災船着場の整備



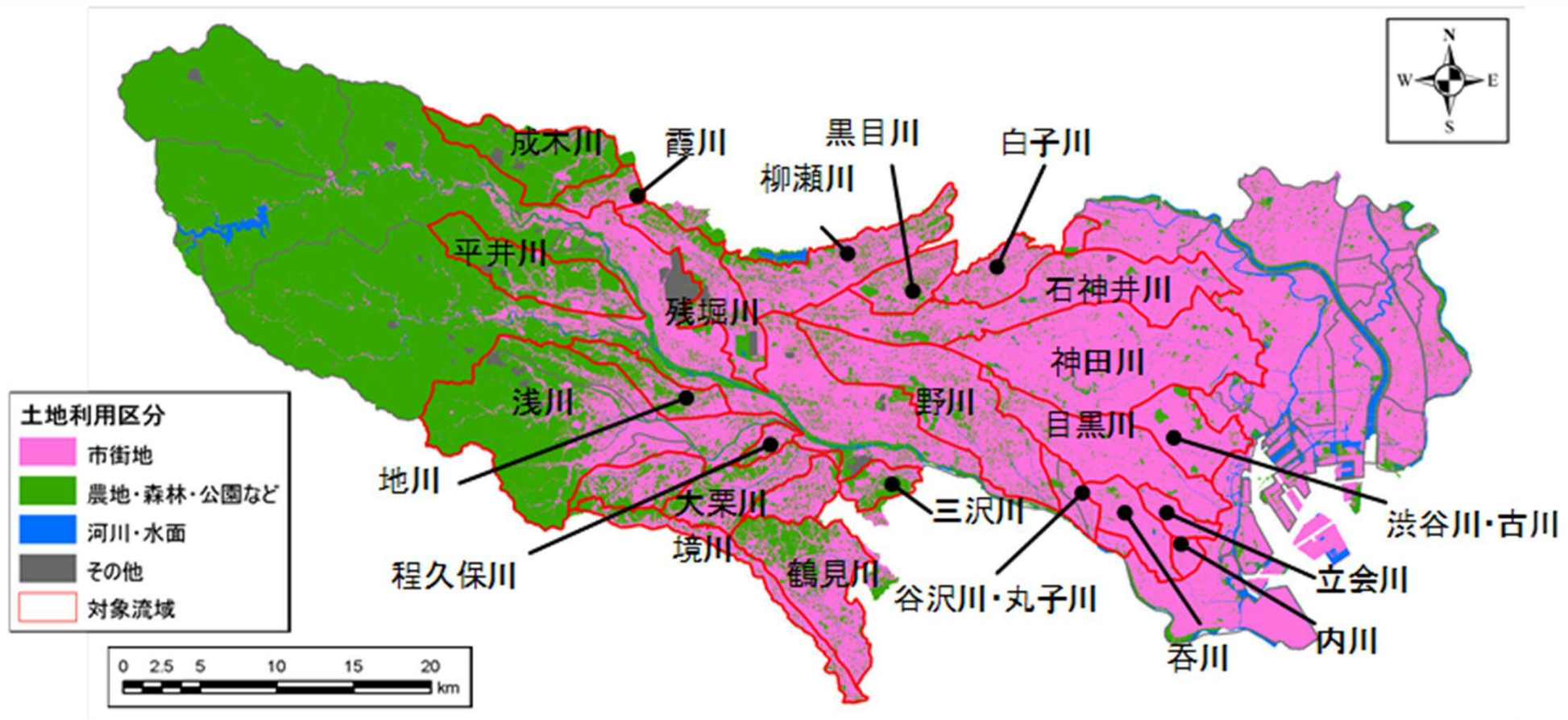
明石町防災船着場

にぎわいづくり



隅田川「かわてらす」(清澄)

中小河川の洪水対策【東京の河川の特徴】



野川(糟嶺橋付近)



古川(三田・麻布十番付近)



中小河川の洪水対策

河道整備



石神井川（改修前）



石神井川（改修後）

調節池整備



環七地下調節池



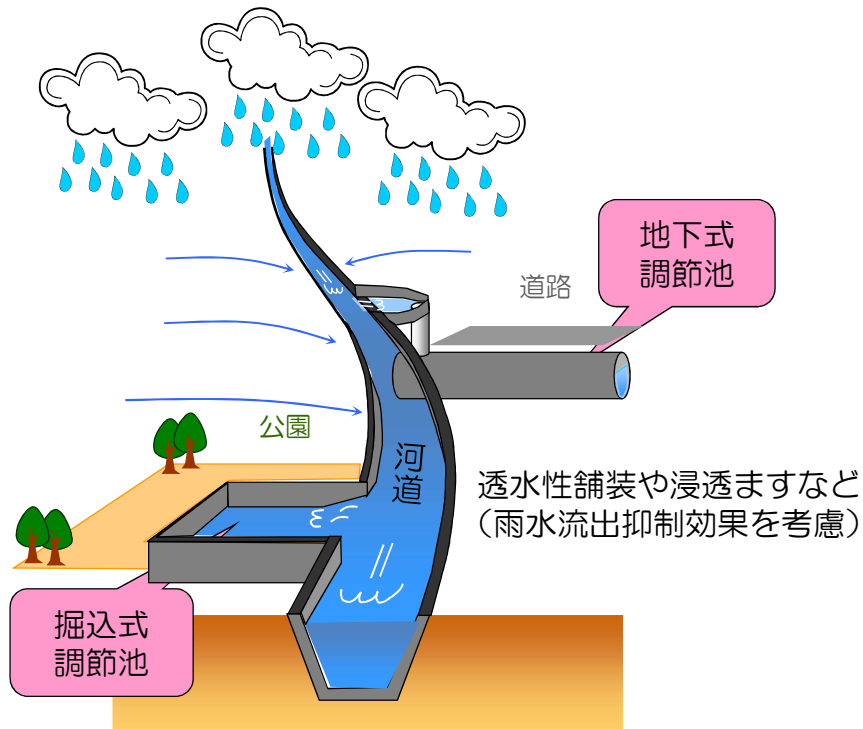
中小河川の洪水対策【整備方針】

◆平成24年11月に「中小河川における都の整備方針」を策定

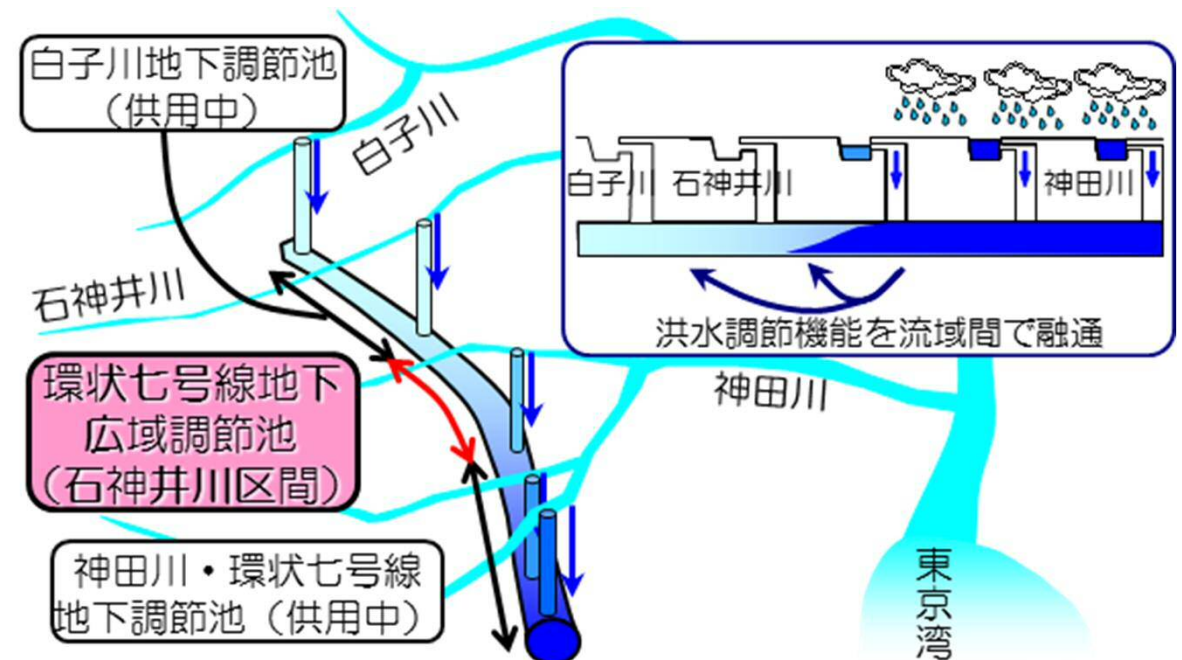
現在の時間50ミリ降雨への対応から、区部河川では時間75ミリ、多摩部河川では時間65ミリ降雨に目標整備水準を引き上げ、河川からの溢水を防止する。

【整備の考え方】

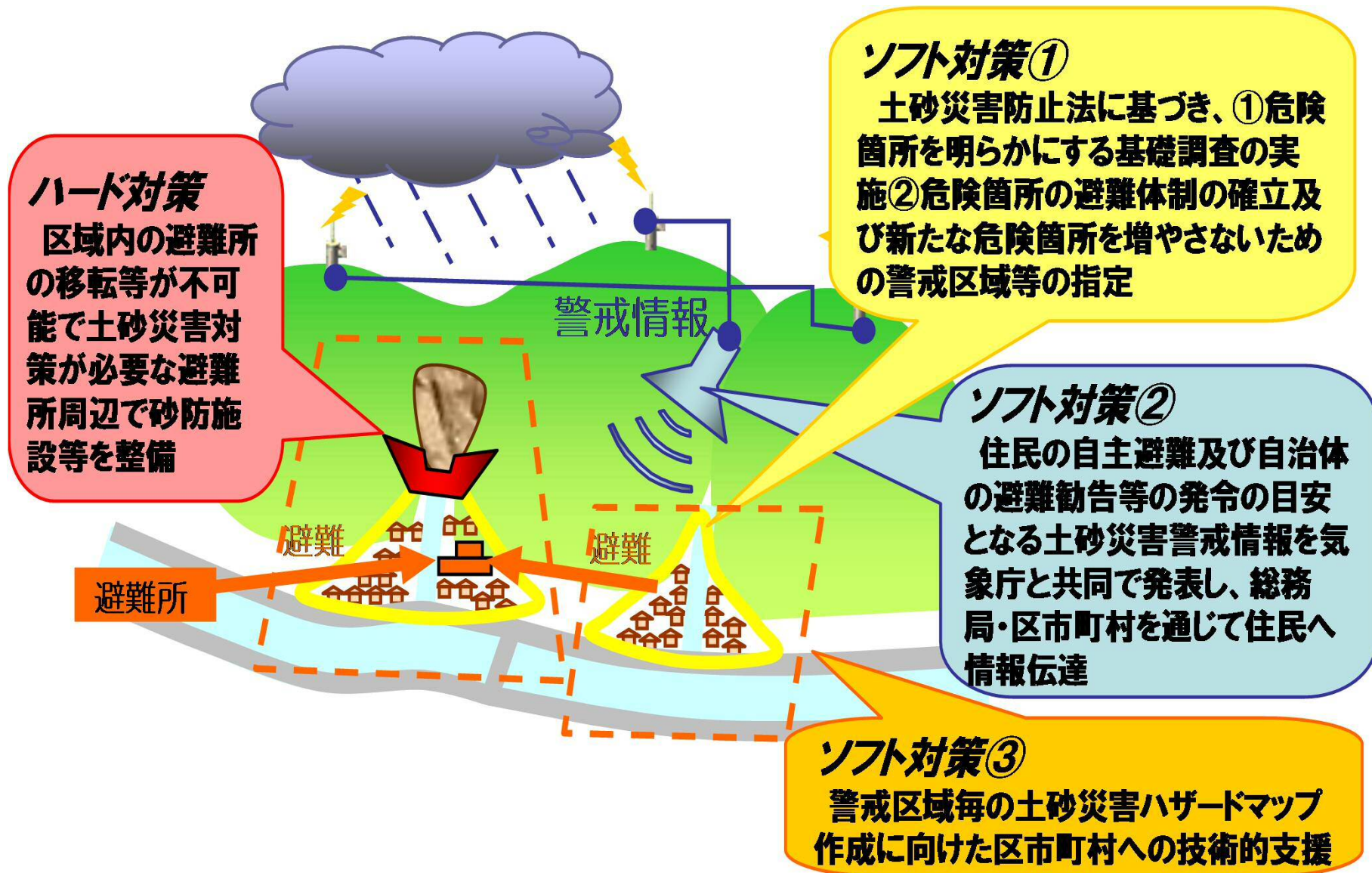
○ 道路下や公園等の公共空間を活用し効率的に整備



○ 広域調節池による調節池機能の流域間相互融通で局地的集中豪雨に対し、高い効果を発揮



土砂災害対策【ソフト対策とハード対策の連携】



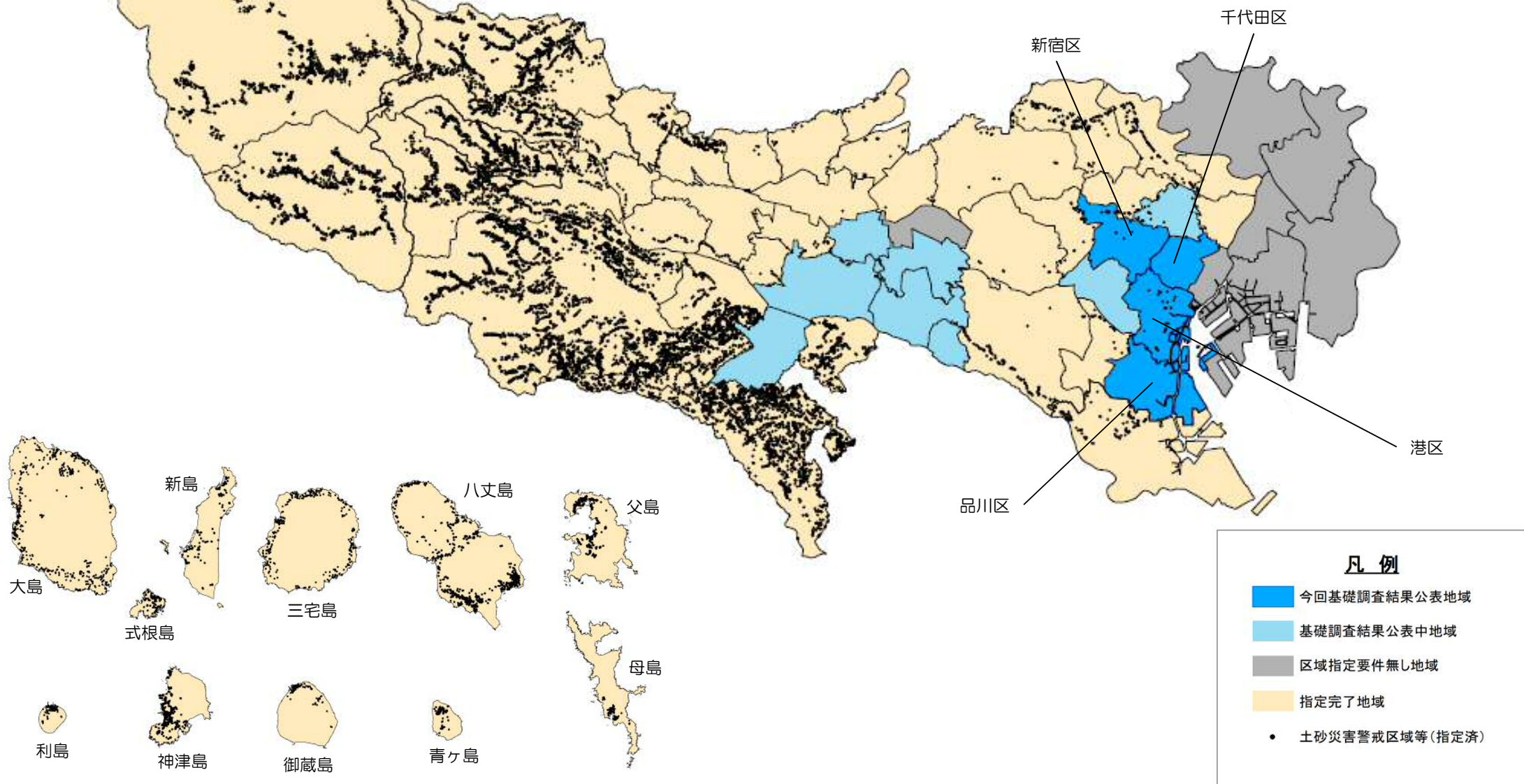
ハード対策を着実に進めるとともに、警戒避難体制の確立に必要な土砂災害警戒区域等の指定などのソフト対策の推進が必要

ソフト対策【土砂災害警戒区域等の指定状況】

土砂災害のおそれのある約15,000箇所について

土砂災害警戒区域14,574箇所、土砂災害特別警戒区域11,307箇所の指定を完了

(31年3月末時点)



都内全域の土砂災害警戒区域等を**今年度前半までに指定完了**させる

ソフト対策【防災意識を高める取組】

【技術講習会】



＜防災担当者＞

【出前講座】



＜地域住民＞



＜自主防災組織＞

- 有識者による基調講演
- 他の自治体の先進的な取組事例の紹介
- 気象情報の活用について

- ハザードマップを用いた避難場所の確認
- 避難により災害をまぬがれた事例の紹介
- 気象情報の活用について

避難の重要性を伝える

土砂災害対策【ハード対策】

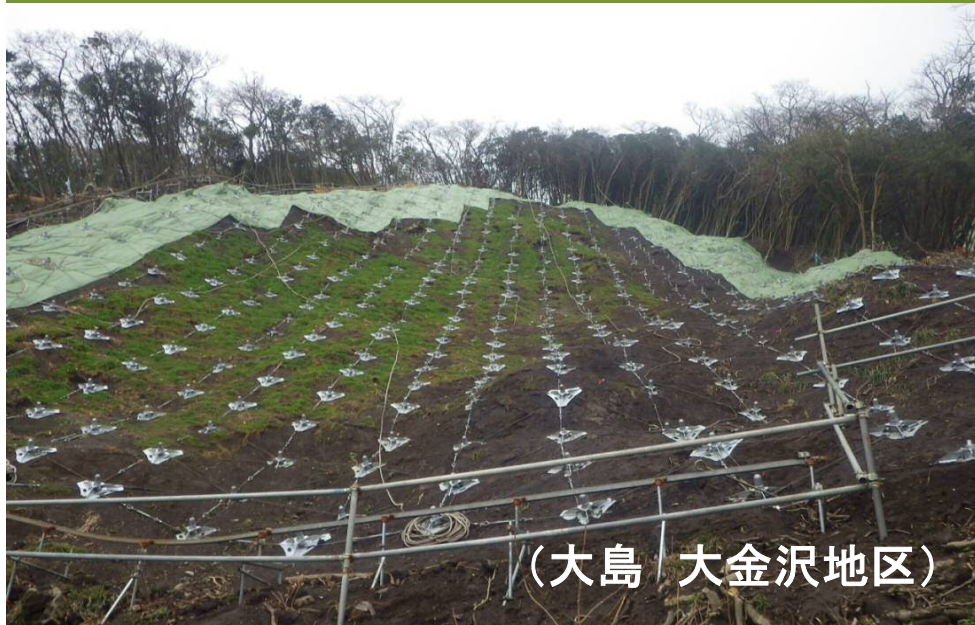
土石流を抑える砂防えん堤



急な斜面を保全する法枠工



崩壊した斜面を安定した地盤とする山腹工



土石流の流れる方向を制御する導流堤



平成31年度

東京都水防協議会

東京都建設局河川部